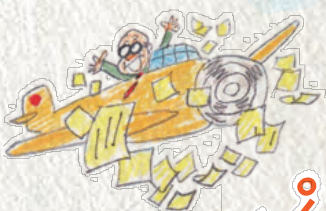


第61回 宇和島市民文化祭 開幕イベント

ShinyUncle

～ミュージカル油屋熊ハ～

ピッカピカのおじちゃん



別府観光の父と呼ばれる「油屋熊ハ」

故郷である宇和島に、キッズミュージカルとなって帰ってきます!おかえり!熊ハさん!

2019年

9月22日(日) 17:30開場 18:00開演 • 23日(月・祝) 13:00開場 13:30開演

場所 宇和島市生涯学習センター(パフィオうわじま 1F)

入場料 無料 ※但し、整理券が必要です。両日 先着200名

[整理券配布場所:きさいや広場内 観光情報センター]

●主催:宇和島市民文化祭実施委員会・宇和島市教育委員会 ●共催:(株)上田 ●協賛:県民総合文化祭
●協力:(一社)別府市観光協会・別府温泉宣伝協会・平野資料館・シオナース

お問合せ:宇和島市観光物産協会 ☎0895-22-3934

あぶらや くまはち

皆さんは“油屋熊八”という名前を聞いたことがあるでしょうか？



提供:平野資料館

いまから100年以上も前に将来の「観光・レジャー」資源に目をつけ、地域の活性化にいち早く取り組み、大成功を収めた男がいました。それが“別府観光の父”といわれた油屋熊八(1863-1935)です。

その功績から、JR別府駅の正面には熊八の銅像が立っています。温泉マーク入りのマントを付けて両手を高くあげて、空から舞い降りてきたような姿は、駅に降り立つとまず目に入り、思わず同じポーズをとってしまう光景は当たり前のこととなっています。

熊八は、とっぴな発想力と旺盛な行動力で、別府を日本一の観光地に導きました。ピカピカに光った頭と赤いネクタイがトレードマークで、誰からも親しまれ子供たちからも「ピッカピカのおじちゃん」と呼ばれていました。

熊八は文久3年に愛媛県宇和島市横新町に生まれました。15歳より家業の米穀問屋で働き、27歳で宇和島町議に当選。30歳の時に大阪に渡って米相場で富を築き、別名「油屋将軍」と言われるほどの栄華をきわめていましたが、日清戦争後に相場に失敗して全財産を失いました。

35歳の時にカバンひとつでアメリカに渡り放浪の上、現地の教会でキリスト教の洗礼を受けた後、約3年滞在。帰国後、自分の理想実現の場所は別府温泉であると決めて、「旅人をねんごろにせよ」(旅人をもてなすことを忘れてはいけない)との聖書の言葉を合言葉に、サービス精神の実践として亀の井旅館(現在の別府亀の井ホテル)を創業。1924年には洋式ホテルに改装して亀の井ホテルを開業。続いてバス事業に進出し、1928年(昭和3年)1月10日に亀の井自動車(現在の亀の井バス)を設立して、日本初の女性バスガイドによる案内つきの定期観光バスの運行を開始。地獄めぐりも温泉マークも熊八のアイデアです。「山は富士、海は瀬戸内、湯は別府」というキャッチフレーズを考案し、このフレーズを刻んだ標柱を宣伝のために、富士山山頂付近に建てたのをはじめ、これまでにない数々のアイデアで別府を日本でも有数の観光地に押し上げました。

今では当たり前の「おもてなし文化」の生みの親ともいえる油屋熊八の生き方を、この度、大分県の子供たちがミュージカルで表現してくれます。

これまで、熊八の故郷である宇和島と20年余りに渡り交流を重ねて来た事が縁となり、実現したキッズミュージカル「Shiny Uncle」(シャイニーアンクル)～ピッカピカのおじちゃん～子供たちにしか演じることの出来ないキラキラとしたスピード感のある、エネルギーギッシュな油屋熊八の世界をお楽しみください。



宇和島市民文化祭

えがお

テーマ「復興へ愛顔の力を 令和の未来へ夢を!」

期間

令和元年9月22日(日)～12月7日(土)